



2014 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 参 天 製 薬 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 兼 C E O 黒 川 明
(コード番号 4536 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーショングループ グループマネージャー 日 比 貴 史
(T E L 0 6 - 4 8 0 2 - 9 3 6 0)

日本政策投資銀行より「DBJ 環境格付」を取得したことによる 資金調達について

参天製薬株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:黒川明、以下「参天製薬」)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:橋本徹、以下「DBJ」)より、「DBJ 環境格付」に基づく最高ランクの格付を取得し、この「環境格付」融資プログラムによる資金調達を実施しましたのでお知らせします。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

参天製薬は、眼科とリウマチ領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医薬品の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。社名の由来でもある「天機に参与する*」という基本理念に基づき、眼科を中心とする特定の専門分野に特化した事業活動を通じて、優れた製品・サービスを提供することにより、世界の「患者さん」の QOL (Quality Of Life: 生活の質) 向上への貢献を目指しています。日本をはじめ、欧・米・アジアに事業展開を図るとともに、50 か国以上に製品を供給しており、国内の医療用眼科薬市場においては No.1 のシェアを有しています。

*中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。

今回の DBJ による格付では、以下の点が評価されました。

- (1) 参天製薬の基本理念に ISO26000 の考え方を照らし合わせ、企業活動の中で重視すべき社会的課題を「CSR 推進中核領域」として特定した上で、社内外のステークホルダーとの対話を進めながら、各領域で具体的に取り組むべき事項を検討している点
- (2) 製品の品質について法令などの要求水準を超える独自の規格や基準を設定するとともに、品質管理に大きな影響を与える水資源への対策を重要な環境活動のテーマに定め、森林保護活動による水系保全を積極的に実施している点
- (3) 厳格な工程管理により不良品率の低下を実現するなど、廃棄物の削減を進めてきたことに加え、廃棄物の最終処分率について業界水準を上回る数値目標を設定し、3R 活動のさらなる推進にコミットしている点

その結果、参天製薬は、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という「DBJ 環境格付」に基づく最高ランクの格付を取得することができました。

この「環境格付」に基づき、参天製薬は、DBJ より、「環境格付」融資による資金調達を実施しました。この調達資金は、本年 5 月 13 日付けで発表済みの、米国メルク社からの眼科製品の譲受に関する契約に基づく対価支払いのための資金に充当されました。尚、この資金調達の実施による、当社の業績予想の修正は予定していません。

株式会社日本政策投資銀行 (DBJ) について

DBJ は、日本開発銀行と北海道東北開発公庫の統合により設立された日本政策投資銀行を前身とし、平成 20 年 10 月に株式会社として設立された政府 100%出資の金融機関です。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営に向けた顧客の取り組みを支援しています。

以上